

今、何の病気が流行しているか！

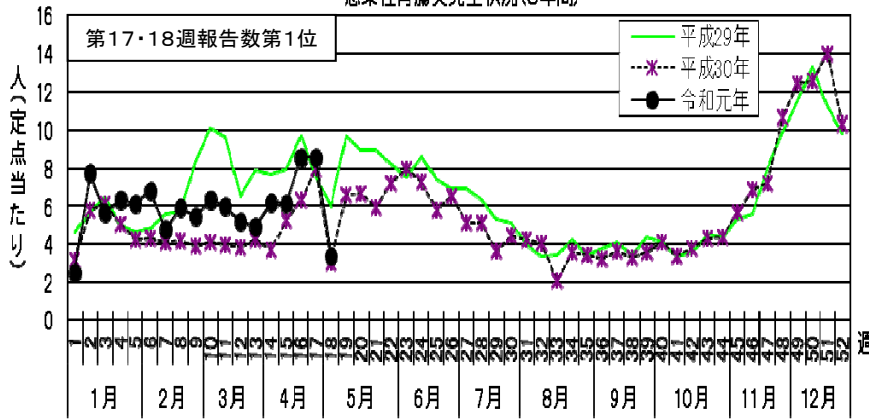
【感染症発生動向調査事業から】

平成31年4月22日（月）～4月28日（日）〔第17週〕及び4月29日（月）～5月5日（日）〔第18週〕の感染症発生状況

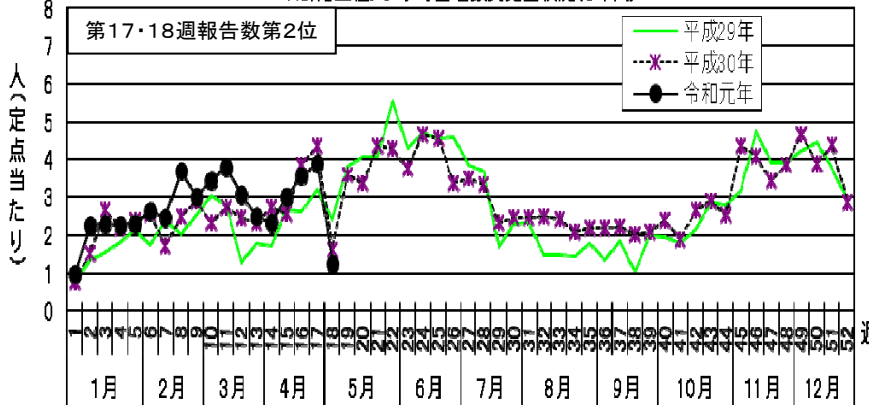
第17・18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。
第17週は、感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数が8.59人と前週（8.57人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
第18週はゴールデンウィークで、多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



大型連休後の体調の変化に注意しましょう！！

大型連休中には、海外だけでなく国内の様々な場所へ旅行された方も多いか
と思います。現在、国内外を問わず様々な感染症の流行がみられます。体調を
崩された時は早めに医療機関を受診し、担当医には症状だけでなく旅行先や滞
在期間なども必ず伝えましょう。

《発熱をきたす感染症》

麻疹、デング熱、マラリア、
各種細菌感染症など



発熱が続くなど全
身状態が悪い場合
は重症化の可能
性もあります。

《発疹をきたす感染症》

麻疹、風しん、デング熱、
ジカウイルス感染症など



かゆみを伴うも
のはアレルギー
の可能性もあり
ます。

《下痢をきたす感染症》

細菌性赤痢、腸チフス、
コレラ、O157*など

※腸管出血性大腸菌感染症



激しい腹痛や血
便などがみられ
る際は特に御注
意ください。

現在、国内では首都圏など大都市を中心に麻疹、風し
んが流行しています。いずれも急性の熱性発疹性疾患です
が、麻疹は感染力が非常に高く、免疫のない方が患者と
接触するとほぼ100%発症します。風しんは15～30%
程度が不顕性感染で、比較的軽症な疾患ですが、妊娠20
週頃までの妊婦が感染すると、白内障、先天性心疾患、難
聴などの症状を呈する先天性風しん症候群の児が生まれる
可能性があります。

麻疹、風し
んに感染しな
いためには、
MRワクチン
の接種が有
効です。



※麻疹風しん混合ワクチン